



## 用意する物（道具）

電子スケール・ヒートガン（大風量ドライヤー）  
非接触温度計・ガストーチ  
マスキングテープ・カッター・ピンセット・ビニール手袋・ダンボール箱

## 材料

板・波専用レジン・ラメ・紙コップ・混ぜ棒  
着色剤  
（アクリル絵の具・液状アクリル樹脂絵の具・パールマイカ・シュプリームホワイトなど）

## ～作業前の準備～

レジンが服やテーブルにつくと取れなくなります。  
テーブルにはビニールシートをかけ、スケールにもビニール袋をかけましょう。  
エプロンや手袋を着用し、出来るだけ換気をした状態で作業するようにしましょう。

## 1.板の側面と裏にマスキングテープを貼る

底面の板からはみ出た部分はカッターで切り取る

## 2.着色剤を4色決める

着色剤同士の反応によって柄を出すため、出来るだけ違う種類の着色剤を4色選ぶ。  
例)アクリル絵の具+パールマイカ+液状アクリル樹脂絵の具+シュプリームホワイト

## 3.レジン进行混ぜる

主剤2:硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。  
レジン使用量135g(波専用レジン 主剤90g:硬化剤45g)  
気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。

## 4.レジン进行粘度をつける

レジン进行硬化熱でレジン温度が40度くらいになるまで放置する  
硬化が遅い時はヒートガンでレジン进行温める。  
ヒートガンで温める時は使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、1～2分後に計測。  
温度が基準に入ったら次の工程へ



## 5.レジン进行4つに分けて着色剤进行混ぜる

紙コップにレジン进行4等分に分け、着色する。  
青系の着色剤は硬化が早いので、青から遠い色から着色する。

## 6.新しい紙コップに4色のレジン进行入れ、MDFの上にひっくり返す

入れる順番は好きな順番でOK。  
紙コップの中では混ぜないようにする。

## 7.紙コップを取り、MDFのフチまでレジンが行くようにプレートを傾ける

レジン进行垂れるので時計や服の袖に注意。  
レジン进行硬くなりすぎて動きにくい場合はヒートガン进行当てながら傾ける。



## 8.トーチ进行気泡を取り、ラメ进行振る

## 9.約2日間、硬化を待つ

硬化中にホコリがつかないようにダンボールなどでカバー进行する。

## 10.完全に硬化したらマスキングテープ进行はがす

ドライヤーなどで温めながらはがす。  
レジン进行つらら(垂れ)が取れない時にはカッターなどで切れ込み进行入れてからはがす。

\*こちらのテキスト进行無断で複製し第三者に開示进行することを禁じます。  
\*レッスン内容は予告なく変更になる場合がございます。  
\*レッスンで使用していない材料进行使用したアレンジ品などのご質問はお控えください。